

【学校教育目標】

◎かしこい子 ◎やさしい子 ◎たくましい子

「自分で考え、判断し、行動できる、心豊かでたくましい児童の育成」

【目指す児童像】

- ◎ かしこい子
 - ・進んで学ぶ子
 - ・本をたくさん読む子
 - ・よく考える子
- ◎ やさしい子
 - ・思いやりのある子
 - ・進んで協力する子
 - ・礼儀正しい子
- ◎ たくましい子
 - ・進んで運動する子
 - ・生命を大切にする子
 - ・ねばり強くやりとげる子

【目指す学校像】

- ◎ 笑顔あふれる学校
 - ・児童一人一人が夢を持ち、自己実現できる学校。
 - ・児童・保護者・教師が互いに認め合い生きる学校。
 - ・安心・安全な学校

【学校教育目標を達成するための教師像】

- ◎意欲と情熱を持つ教師
 - ・児童一人一人を考え、情熱と使命感を持って指導できる教師。
 - ・専門職としての誇りを持ち生涯学び続ける教師。
 - ・調和と協調を大切にし、個性を創造的に発揮する教師。

【学校経営方針】

- ◎学校教育目標の具現化に努め、その達成を目指す。
 - ・教職員の創意工夫を生かし、保護者・地域社会に開かれた、信頼される学校づくりに努める。また、コミュニティ・スクールを推進し、地域を巻き込んだ笑顔あふれる学校を具現化する。
 - ・児童一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育に努める。
 - ・ノーマライゼーションの理念に基づく教育を鑑み、インクルーシブ教育を推進する。
 - ・校内研修の充実と教師の指導力の向上に努める。

【学校教育目標具現化のための本年度の方針】

◎「かしこい子」

- ・主体的・対話的で深い学びを通じた「確かな学力」の育成はもちろん、『個別最適な学び』『協働的な学び』を実現するよう指導方法を不断に見直す。
- ・児童が「学びたい」と思う授業を創造するとともに、課題のある子どもへの学習支援を実施する。
- ・ICT 機器と児童一人一人のタブレット端末を活用した授業の工夫を行う。
- ・家庭と連携し学校教育への理解を求める。

◎「やさしい子」

- ・思いやりのある子、進んで協力する子の育成は、我々教師が児童に向き合う姿勢が大切である。児童や保護者との信頼関係を深め、「決して見放さない」というスタンスで、粘り強く指導に当たる。
- ・生活規範の醸成するために、学校と保護者が児童を真ん中に据えて、お互いができることを明確にし、児童を育てていく。

◎「たくましい子」

- ・体力の向上の育成は、前年度の新体力テストの結果分析から、課題を明確にし、授業・休み時間の遊び等、具体的に取り組む。体力を少しでも向上させ、心身ともに「たくましい子」を育成する。また、家庭との連絡を通じ、心と身体の健康を大切にする体制を整える。

【コミュニティ・スクールの充実のために】

コミュニティ・スクールとしての在り方を研究し、教育環境の整備に努め朝霞第四小学校の教育を充実させる。

さらにコミュニティ・スクールでは、運営協議委員や地域の方々からの意見を大切にし、これまでの取り組みを見直し、本校の教育活動の改善に努める。特に児童にとって体験的な学習を充実させるため、保護者、PTA、地域の教育力を活用した教育を実践する。外部の教育力をお借りし、その取り組みと成果を外部・社会へ発信することにより、朝霞第四小学校の教育をさらに深化できるように努める。また、運営協議会からの提案を積極的に受け入れるよう働きかけていく。

- ① 広く教育活動を公開し、保護者や地域、社会に学校を理解していただく。その中で得た評価を活かし、同時に多くの協力者を募り活用する。
- ② 教育環境の特性を活かす。現在の施設設備と立地を有効活用し、教育内容の充実を図る。
- ③ 衛生管理（手洗い・うがい・顔洗い）の徹底と施設設備の美化、安全管理（交通状況の把握、指導等）への配慮を行う。
- ④ 社会人講師や地域、外部の教育力をより活用する。道徳・各教科や諸活動において積極的に活用する。学校応援団もその一つとして連携を強化する。